

# きもつき119



## 平成30年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練実施 (東串良町俣瀬橋河川敷 他3会場)



平成31年2月

第94号

管内人口 平成30年12月31日  
140,600人 世帯数  
男 67,198人 69,980世帯  
女 73,442人

編集・発行 大隅肝属地区消防組合

TEL 0994-52-0119

HP (<http://www.fdkimotsuki.jp/>)

「きもつきしょうぼう」入力でクリック



# 春の全国火災予防運動実施

期間3月1日(金)～3月7日(木)

ちょっとした不注意が火事のもと!

平成30年上半期  
鹿児島県出火原因

ワースト3

鹿児島県危機管理局消防保安課文書参考

1位



たき火

2位



火入れ

3位



コンロ

火災はささいな不注意が原因となって発生してしまうことが多いです。「ちょっと火をつけるぐらい大丈夫だろう」、「少しくらい目を離しても大丈夫だろう」といった油断が火災のきっかけとなってしまいます!

上記に挙げられた出火原因ワースト3は、皆さんの心掛け次第で、火災を防ぐことができます。炎の勢いというのは皆さんの考えている以上のスピードで大きくなっていき、大きくなるほど消火することが難しくなります。

今一度、火の怖さを認識していただき、火を取り扱う際は十分注意していただきますようお願いします。

## 万が一、火災が発生、発見した時は!

① 周りに知らせる!



まずは、「火事だー!」と大きな声で家族や隣近所に知らせて助けを求めましょう。声が出ない場合は、鍋など大きな音が出るものを叩いて周りに知らせましょう。

② 119番通報!



次に、119番通報をしましょう。冷静になれない状況ですが、消防署から住所、電話番号など聞かれますので、落ち着いて正確に伝えましょう。

③ 初期消火!



その後、初期消火に移りましょう。消火器や水などで消しますが、天井まで火が燃え移ったり、消せないと思った場合はすぐに避難してください。

初期消火に失敗した場合、身の安全を確保し消防隊の到着を待ってください!



**がんばってます！  
女性消防職員！！**



平成30年4月に本消防組合初となる女性消防職員が2人採用されました。

半年間の消防学校教育を修了し、現在は中央消防署で勤務しています。

2人は火災現場や救急、救助現場に出動し、男性職員と同様に消防士として現場活動に従事しており、防火指導や救助訓練にも積極的に取り組み、日夜一人前の消防士を目指してがんばっています。



女性消防士として住民の方を少しでも安心させられるようやさしさと気配りを活かしてがんばりたいです！



湯ノ上晴南消防士



女性職員として、やさしさと思いやりを持って、住民の皆さんに寄り添った消防士を目指していきます！



脇恵美消防士

## カセットボンベ、スプレー缶等による 火災や事故に注意！



### カセットボンベ、スプレー缶等による火災や事故に注意してください。

カセットボンベ、スプレー缶、殺虫剤、化粧品などのエアゾール製品は、日常生活において身近で便利なものとなっていますが、取扱いを間違えると非常に危険です。カセットボンベ等には、液状・粉状の内容物と一緒に、噴射剤として圧縮された可燃性ガスが充填されています。可燃性ガスは火の気があれば引火して爆発燃焼する非常に危険なガスです。

#### カセットボンベ等を使用する上での注意事項

- 1 カセットボンベ等は、完全に中身を使い切ってから捨てましょう。中身が残っているカセットボンベ等が原因でゴミ収集車からの火災も発生しています。  
なお、ガス抜きをする際は、屋外の火の気のない風通しの良いところで行ってください。閉めきった屋内で行うと可燃性ガスが充満し、爆発・火災の危険があります。
- 2 火気のある場所での噴射や使用直後の火気使用は避けましょう。
- 3 保管する場合は、直射日光や高温となる場所を避けましょう。
- 4 廃棄する際は、自治体のごみ出しの取決めに従ってください。
- 5 自宅でガス抜きができない場合や、大量にカセットボンベ等がある場合は、お住まいの自治体やリサイクルセンターなどに問い合わせてください。



初期消火・通報の  
功労者表彰

平成三十年三月二十四日、鹿屋市高須町で発生した建物火災において、車で現場付近を通りかかった松原英之さん、直子さん夫妻が、建物から出ている煙に気付き、英之さんが粉末消火器で初期消火を、直子さんが119番通報を行い、被害を最小限に食い止めました。

中央消防署は、二人の迅速な初期消火、通報が無ければ延焼拡大していた恐れがあるとして、火災功労者として表彰しました。



救助者の功労者表彰

平成三十年五月二十一日、鹿屋市下高隈町で発生した建物火災において、火災に気付き現場に駆け付けた小野裕司さんと林正樹さんが、延焼の危険のある住宅から親子二人を安全な場所まで避難させました。

中央消防署は、二人の迅速な救出活動により、死傷者の発生を未然に防いだとして、二人を人命救助功労者として表彰しました。



初期消火の功労者表彰

平成三十年九月九日、肝属郡錦江町城元の住宅密集地で発生した火災を、市来東呉さんが発見し、坪内健次さんと協力して粉末消火器等を使用した初期消火を行い、火災による被害を最小限に食い止めました。

南部消防署は、二人の適切な初期消火が無ければ延焼拡大していた恐れがあるとして、火災功労者として表彰しました。



消防本部指令課からのお願い



平成30年1月から12月まで、管内の119番通報は**14,177**件ありました。通報内容の割合は右の表のとおりです。近年119番での問い合わせが増加傾向にあります。**119番は消防車及び救急車要請の緊急用の回線です。**下記のサービスも行っておりますので、問い合わせの際にはご利用ください。また、大隅肝属地区消防組合ホームページにも各種案内がありますので、ご利用ください。

テレホンガイド（休日当番医案内、災害案内） **0994-43-0119**  
その他の問い合わせ（代表回線） **0994-52-0119**

119番通報内容内訳

火災・警戒出動	3%
救急出動	54%
救助出動	1%
通報訓練	15%
回線試験	6%
問い合わせ	<b>13%</b>
誤報・いたずら	5%
その他（重複等）	3%